

2022年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年3月28日

報告者	学科名	現代福祉学科	職名	教授	氏名	岩満 賢次
研究課題	地域におけるNPOインターンシップの効果測定に関する研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	岩満賢次	現代福祉学科・教授	社会保障	研究代表者	
	分担者					
研究実績の概要	<p>昨今、多くの大学においてサービス・ラーニングの手法を用いた地域の問題解決型の取り組みが行われている。しかしながら、これらの活動は、ボランティアの体験的な要素にとどまっており、自ら思考し、問題解決を図るところまでには至っていないことが多い。そのようなことから、NPOのインターンシップを実験的に行い、NPOと協働により、地域の問題解決を行うことが、学生にとってどのような効果をもたらすかを検証した。</p> <p>本研究は、NPO インターンシップ実施希望のあった4団体並びに、参加希望のあった学生6名を対象に実施した。</p> <p>スケジュールは下記の通りであった。</p> <p>4月から6月にかけて、モデルプログラムを各団体と協議した</p> <p>6月から7月にかけて、学生の募集と受入団体の調整を行った</p> <p>8月から9月にかけて、6名の学生が4団体のNPOインターンシップに参加した。実施日数は概ね10日間としたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開始日時が遅れたことや緊急事態宣言の発令等により、10日に満たない団体もあった。</p> <p>9月29日：参加学生と受入団体との振り返り会を実施した。</p> <p>これらの研究を進めていくために、「アクティブラーニングプログラムと評価に関する検討会」を開催し、計7回の会議を開催した。</p> <p>効果測定にあたっては、学生に活動記録を記載してもらい、その活動記録から学習の成果の傾向を分析した。合わせて、学生並びに受入団体を対象としたアンケート並びに振り返り会の発言をもとにその効果を確認した。</p> <p>さらに、A大学の教員との合同振り返り会、並びにB大学主催の3校合同による発表会に参加し、その学びの成果を分析した。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>以上のことから、今回の地域で学ぶNPO インターンシップで得られた要素は、学生へのアンケート結果並びに、活動記録の分析から見る事が出来、地域人材の育成の寄与出来ている可能性が見られた。地域での様々な課題に対応できる人材養成には、NPO インターンシップに効果がある可能性が高く、今後も継続して行っていきたい。</p> <p>最後に、新型コロナウイルス感染症蔓延の大変な中、学生を受け入れて頂いた団体の皆様に心より御礼申し上げます。</p>
<p>成果資料目録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学ぶNPO インターンシップ実施報告書